

洪水時に緊急速報メールが届きます

国の管理する河川の洪水時に携帯電話の緊急速報メールで洪水情報が配信されます。避難行動を取るなど安全確保を図りましょう。

計画高水位を超えた時の情報

件名 河川氾濫発生

吉野川の●●●町●●●●●●●●●●地先(●岸●●●●●k)付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。

氾濫危険水位を超えた時の情報

件名 河川氾濫のおそれ

吉野川の三好大橋(三好市)付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。本通知は、四国地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。

国土交通省

観測場所：吉野川上流 池田観測所 (三好大橋)

健康アップで特典ゲット!

昨年に引き続き本年度も健康ポイント事業がスタートします。楽しみながら健康づくりに取り組みませんか。



三好市健康ポイント事業のねらい

健診や健康に関する講演会、イベントなどに参加したり、自分の目標設定をしてポイントを貯めることで、各種商品が当たる抽選に応募できます。

三好市健康づくり条例の制定により、市民の皆さまの健康寿命の延伸を図り、生涯にわたるいきいきと暮らすことができる健康のまち・三好市の実現を目指すためのものです。

【対象者】 三好市に住民票のある

昨年のパンフレット

る20歳以上の方

【実施期間】 5月10日(水)～平成30年1月31日(水)

【応募受付期間】 6月1日(木)～平成30年2月9日(金)

【参加方法】 市報5月号で配布予定の折込チラシの「三好市健康ポイントカード」を切り取り、三好市健康ポイント登録事業(健診、講演会、各種教室など)に参加してください。各自でポイントカードに記入し、10ポイントたまれば応募できます。登録事業、応募方法などの事業の詳細につきましては、市報5月号の折込チラシに掲載いたします。たくさんの方のご参加をお願いします。

三好市健康づくり推進協議会委員を募集します

「公募委員」として市民の方に参加していただき、学識経験者や各種団体の代表者などが選任した委員とともに、三好市の健康づくりに関する事項について審議していただきます。

【募集資格】 現在、満20歳以上の市民で、健康づくり施策に對

5月1日から 配信サービス開始

近年、記録的な豪雨により、全国的に大規模な水害や土砂災害が頻発しています。また、気候変動の影響により、今後ますます洪水の発生頻度が高まることと予想されています。

そのため、国土交通省では5月1日から、吉野川流域の美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町の皆さまの携帯電話に、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」を活用した洪水情報を配信するサービスを開始します。

基準観測所となる、池田観測所(三好大橋)の水位が避難勧告発令の目安となる高さに達すると、近隣の市町に住む方の携帯電話にメールが自動で届きます。メールの受信に特別な手続きは必要ありません。

配信する情報・タイミング 氾濫危険水位を超えた時および河川氾濫が発生した時

お問い合わせ 国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所河川調査課
電話 088-654-9611
三好市役所危機管理課
電話 72-7625

し、特に関心のある方

【募集人数】 2名以内

【募集期限】 4月28日(金)

※郵送の場合は消印有効

【活動内容】 三好市健康づくりに関する事項についての審議を平日の日に年2回程度開催する約2時間の会議に出席していただきます。

【任期】 委嘱の日から2年(ただし再任を妨げません)

【応募方法】 様式は問いませんので、①氏名②住所③生年月日④職業⑤健康づくりに対する意見を明記の上、三好市保健センターまで、持参されるか郵送にてご応募ください。

【選考方法】 応募者多数の場合は、市において年齢構成や意見などを総合的に考慮し、選考により決定します。

【結果通知】 後日、本人に通知します。

【その他】 委員となり会議に参加された場合は、市の定めた謝金をお支払いします。

【お申し込み・お問い合わせ先】
三好市役所健康づくり課
三好市保健センター内
電話 72-6767

災害時に物資を優先的に供給 NPO法人コメリと協定締結

三好市は災害発生時における物資の供給に関する協定を3月17日、NPO法人コメリ災害対策センターと締結し、黒川市長と株式会社コメリ中四国本部の二宮茂實ゾーンマネージャーが三好市役所で協定書に調印しました。

協定では、大規模な災害時に、ヘルメットや雨具などの作業用品、毛布や飲料水などの日用品などを優先的に確保し、支援を行うことなどが規定されています。

センターは全国の自治体などと同様の協定を結んでおり、県内では三好市は9件目。黒川市長は「市民の安全安心を守るため、協定を有効に活用していきたい」とあいさつ。二宮ゾーンマネージャーは「経験を生かし、迅速に対応していきたい」と述べました。

健康ポイント事業 参加者の声

健康ポイント事業に参加して、ポイントを貯めて応募しました。ポイントを貯めることは自分の健康のためです。参加してよかったです。

ポイントを貯めることは、自分の健康を守ることになると思って健診を受けているような事業にも参加しました。賞品が当たっても嬉しいです。次もまた参加します。